

えとクリニック通信

2019 春 No.45

えとクリニック TEL 0176-25-2525



4月から

水曜日の午前も診療いたします

受付時間 : 午前 9:00 ~ 11:30

午後 2:30 ~ 5:30

	午前	午後
月曜日	○	○
火曜日	○	○
水曜日	○	休診
木曜日	○	○
金曜日	○	○
土曜日	○	休診

ぜひ ご利用下さい。

《 当院は

消化器内視鏡専門医です 》

先日 2016年に癌と診断された方が99万5132人だったと新聞に発表されました。癌にかかる人は年々増え続け、今では2人にひとりが癌になるといわれています。中でも多いのは、

1位 大腸がん

2位 胃がん と、なっています。

当院では、この胃と大腸の内視鏡検査を専門に行っています。
そして、**ここひと月の間に4人の方に大腸がんが見つかっています。**

その方々からお話を聞くと、

「検査はしばらく受けていなかった」

「初めて検査を受けた」とおっしゃいます。

そうです、検査をして見ないと癌はわからないのです。

私たちは、通院されている方に、進んだ胃がんや大腸がんが見つからないようにという思いから、皆さんに検査をお勧めしています。

週間検査予定（検査は予約制です）

	月	火	水	木	金	土
午前	胃	胃	胃	胃	胃	胃
午後	大腸	大腸		大腸	大腸	

上の表のように毎日検査を行っています。どうぞ職員にお尋ね下さい。

根岸 智子

禁煙は 大切な人を守る行動です

1月の毎日新聞に「受動喫煙は第5の虐待」という記事が載りました。少し衝撃的な見出しですね。なぜ、受動喫煙は第5の虐待と言われるのでしょうか。

受動喫煙とは、たばこの先から立ち上る副流煙や、たばこを吸った人が呼き出す煙を、たばこを吸わない人が吸い込むことをいいます。

たばこを室内の台所、換気扇付近で親が吸った場合、子供の尿中の残るニコチン代謝物質(ニコチン)の濃度は非常に高く、吸わない両親と比べ、5倍以上、子供と接する時間が長い母親では15倍以上、自動車内の場合にはさらに高濃度で残留することがわかっています。またベランダや屋外で吸っていても窓から部屋に流れ込む煙を子供が吸い込んでいるため、尿から残留物質がでていくのです。

そしてそれは体内に少しずつ蓄積され子供の健康に悪影響を及ぼしていくのです。

「たばこは百害あって一利なし」とわかっているにもかかわらず、換気扇の下や屋外で吸っていませんか。また、大切な家族を自動車に乗せたまま たばこを吸っていませんか。狭い空間での喫煙は非常に高濃度に受動喫煙の状態におかれているため、その危険性から第5の虐待といわれるまでになっているのです。



いかがでしょうか、大切なあなたの家族のために ぜひ禁煙してみませんか。禁煙は大切な人を守る行動です。

受付からのお知らせ

【肺炎球菌ワクチン接種について】

2019年度の接種期間は

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日 までです。

対象の方は

- ① 2020年3月31日時点において 65、70、75、80、85、90、95、100歳の方
- ② 2019年3月31日時点において 100歳以上の方

市から「十和田市肺炎球菌ワクチン予防接種票」が郵送されてきますのでご希望の方は窓口までお持ち下さい。

肺炎は日本人の死因の第3位

肺炎による死亡者の約95%は65歳以上

【花粉症について】

暖かくなり花粉症の季節がやってきました。

目や鼻のかゆみ、くしゃみが出るなどの症状はありませんか？

アレルギーの治療を行っておりますので、症状のある方はご相談下さい。

2018年4月より、胃・大腸内視鏡検査を再開しております。
健診でチェックされた方、気になる症状がある方は、どうぞご相談下さい。



坂本 とも子